

和光市議会議員

いはら陽輔ようすけ

無所属

34歳



活動レポート「今こそ始める和光の未来づくり」第5号

市議会・会派「新しい風」報告会のお知らせ

11月12日（土）に私が所属している和光市議会
会派「新しい風」の報告会を行います。
議会報告や市民の皆様との意見交換を予定
しております。是非、お越してください。

「新しい風」報告会 開催日程

- 平成23年11月12日（土）
- 13:30～15:30
- 新倉北地域センター（多目的室）

平成23年和光市議会9月定例会報告

9月1日（木）～9月27日（火）の期間で9月定例会が行われました。提出された報告および議案は全て受理、可決、認定し、陳情については不採択としました。詳細は和光市ホームページをご覧ください。
http://www.city.wako.lg.jp/home/busho/giji/sigi_main/_7330.html

9月議会では決算審査特別委員会が開かれ、私も委員として参加しました。委員会では昨年度（平成22年度）の決算審査が行われ、全ての決算を「認定」しました。決算の概要は次の通りです。

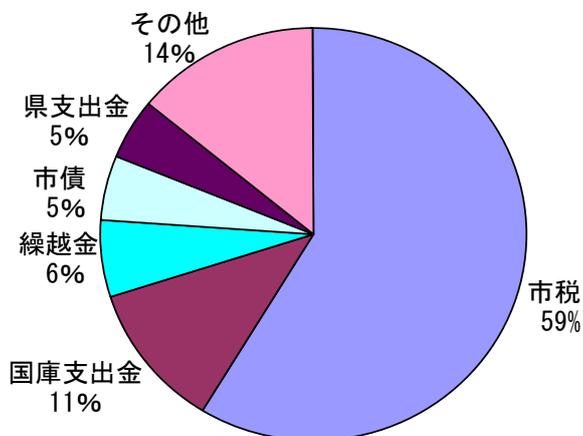
決算状況（単位：千円）

年度	H21	H22	増減
歳入 [A]	24,692,225	23,478,802	△ 1,213,423
歳出 [B]	23,261,955	21,730,559	△ 1,531,396
差引額(A-B) [C]	1,430,270	1,748,243	317,973
翌年度繰越額 [D]	196,557	96,704	△ 99,853
実質収支(C-D)	1,233,713	1,651,503	417,790

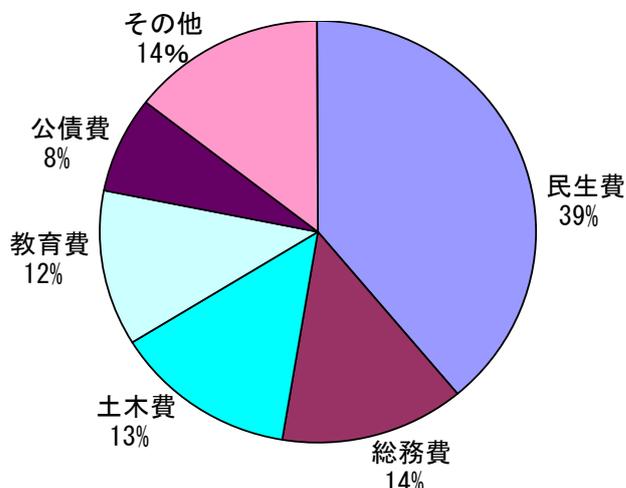
歳入、歳出ともに前年度より減少し、決算規模が小さくなっています。歳入と歳出の差額は前年度より3億1,797万円増え、財政健全化策の効果が現れていると思います。

平成22年度決算の実質収支は16億5,150万円の黒字となっています。しかし、この中には借金（市債等）や基金の取り崩し分も含まれます。

歳入の内訳



歳出の内訳



歳入の大半は市税で占められていますが、市税は年々減少傾向にあります。これは長引く不況やリーマンショック等により法人市民税が大幅に減少したことが影響しています。歳入の割合で最も大きいのが民生費です。民生費は年々増加傾向にあり、生活保護や児童福祉、医療費助成といった社会保障に関わる経費が増加し続けています。

いはら陽輔の一般質問

いはら陽輔が行った一般質問と答弁の要旨（抜粋）をご報告いたします。

問：交付税交付団体となったことに対する見解および再び不交付団体になる見通しは？

答：和光市は自主財源の割合が高く、これまで自律的な財政運営が可能であった。交付税に依存することは行財政運営の自由度が低下し、自律的な財政運営を行うことが困難になる。交付団体は財政面で優遇されるが、市としては再び不交付団体を目指す。
来年度も交付税の交付が見込まれるが、国の地方財政計画に基づいて各地方団体へ交付税が交付されることから見通しを予想することは難しい。

問：平成24年度和光市行政経営方針の中にある「実施計画システム」の構築の状況は？

答：これは財務会計システムのサブシステムとして用意されている実施計画システムをカスタマイズして実用稼働させるものである。
行政経営方針に基づく調書策定、実施事業の採択の作業手順や要領についてシステム化を行っており、来年度からの稼働に向けて予算編成とのデータ連携に取り組んでいる。
これにより事務の効率化が可能となるほか実施計画から予算編成まで、より透明性の高い公表の実現が期待できる。

問：「一課一提案」に日常の業務改善の内容が多かったが、その取り組みの状況は？

答：「一課一提案」は行政改革推進計画の具体的な取り組みのひとつである。職員が自由な発想で取り組みを提案し、各課単位で改善・改革について議論できる環境を作るために制度化した。
「一課一提案」の実施結果については具体的にどのように公表するとは決めていないが、公表して次の改善・改革につなげていく必要があると考えている。

問：他自治体に比べ委託料の割合が高いが委託料の縮減をどのような実施するのか？

答：「和光市行財政問題検討会議報告書」では他市に比べ物件費が高く、中でも委託料が高く、委託方法を検討する必要があるとの検討結果が報告されている。本報告書の内容は、会議メンバーや関係者の見解であり、市の公式見解を示すものではないが、今後、行財政改革を推進していく上で、報告書の検討結果を参考としていく。

問：ロケ地の誘致を映画やドラマだけでなくアニメのロケ地の誘致を行ってはどうか？

答：フィルムコミッション活動において、アニメ等のロケ地として地域活性化につながることは、他市の成功事例もあることから一つの観光政策であることは認識している。
現在、地域ブランドを進める施策を検討しているが、アニメ等のロケ地誘致は検討していない。アニメ等が和光市の地域活性化につながるかどうか、経済効果は未知数ではあるが、地域ブランドの一つの提案として受け止める。

問：学校の建物以外の天井や壁や照明などの設備の耐震化は実施するのか？

答：阪神大震災以降、校舎等の耐震化を順次行ってきたが、その耐震補強工事の際、天井材や内装材、照明器具、窓ガラスといった耐震基準に含まれない非構造部材の破損による被害を最小限に抑えるべく、工事とあわせて対応を実施してきている。
隔年ごとに建物調査の中で学校設備の破損、劣化状況を調査してきおり、緊急性のあるものはその都度措置を講じている。

◆◆◆ いはら陽輔のプロフィール ◆◆◆

- 昭和51年10月31日 岡山県岡山市生まれ
(和光市の市制施行日と同じ10月31日です。)
- 平成11年 神戸学院大学 経済学部 経営学科 卒業
- 平成15年 大阪市立大学大学院 経営学研究科 修了(商学修士)
(専攻は地域経済学。地方財政、自治体政策等を研究。)
- 平成15年 株式会社富士通システムソリューションズ 入社
(在職中は自治体の電算システムの開発・運用を担当。)
- 平成23年～ 和光市議会議員
【所属会派】新しい風
【委員会】総務環境常任委員会、議員運営委員会
- 趣味：スノーボード、まちの散策

公式ウェブサイトをご覧ください
<http://iharayosuke.com/>

和光市議会議員

ようすけ

無所属
新人
34歳

いはら陽輔

今こそ始める 和光の未来づくり



いはら陽輔

検索

発行 和光市議会議員 いはら陽輔
〒351-0112 和光市丸山台2-4-1-106
TEL/FAX ▷ 048-201-0791
E-mail ▷ ihara.yosuke@gmail.com
ツイッター▷ @iharayosuke
ブログ▷ <http://ameblo.jp/iharayosuke/>



ブログにアクセス

討議資料